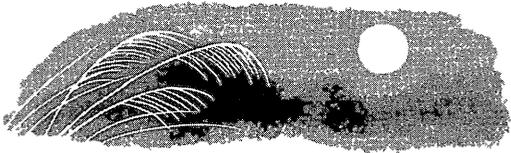


## 鶏頭街〇番地

宮坂静生

鶏頭のまとひてゐたる宇宙服  
一心房一心室の鶏頭花  
鶏頭に湯脈通じてをりにけり  
鶏頭の雨しやあしやあと上がりたる  
鶏頭を子規が讃へて死に徂けり  
鶏頭へ呪ひみんな空廻り  
閃光を浴びひろしまの鶏頭花



鶏頭の種採る誰も術知らず  
鶏頭の幽鬼の種を蒔く虚空  
サピエンス危あぶな鶏頭種蒔かれ  
鶏頭はトラトラトラにかかはらず  
草千里わが命終の鎗鶏頭  
ためいきを溜めるバンクよ鶏頭街

鶏頭は宇宙から来た使者。宇宙服を纏っている。子規の功績はそれに気が付いたこと。明治以降、子規以外だれも真意を理解していない。鶏頭を虐めると地球上の人類は滅亡すると気がついたのは子規であった。

広島に原爆を落とし、鶏頭を殲滅せんとした。人類最悪の選択であった。以後、広島の鶏頭の種を採る術を誰も知らない。幽鬼だけが知っている。しかし、その種が蒔かれた暁には人類は滅ぶ。

いまその危機が迫っている。

(「WEP俳句通信」一四七号の発表句を含む)